

拠出金名： シナイ半島駐留多国籍軍監視団拠出金

国際機関等名	シナイ半島駐留多国籍軍監視団 (略称)MFO					
種 別	国連本体	国連専門機関	○その他			
所轄官庁担当局課名	外務省中東アフリカ局中東第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	61,000	500		1\$ = 122円	(2002年)	0
平成13年度	85,600	800		1\$ = 107円	(2001年)	1.6
平成12年度	105,000	1,000		1\$ = 105円	(2000年)	1.8
拠出上位5ヶ国						
	国 名	率(%)			左の率及び順位は 2001年のもの	
1位	エジプト	32.1				
2位	イスラエル	32.1				
3位	米国	32.1				
4位	日本	1.6				
5位	ドイツ	0.5				
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>MFOは、4度に亘って戦火を交えたエジプトとイスラエルとの停戦確保を図組織として、我が国にとって死活的重要性を有する中東地域の安定のための国際的努力の一翼であり、こうした国際的努力に対する貢献は我が国に必須のもの。我が国の拠出額は予算総額の1%程度に過ぎないが、MFOにとって同組織が国際的な協調によって運営されていることを示す重要性を有し、拠出額以上の高い評価を受けている。なお、我が国はその拠出金の使途を、文民職員の給与と軍人の食糧調達費に限定している。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>MFOは、設立当初に比較して、兵員数で30%、予算額で50%以上の削減を行いながら、ほぼ同一の活動水準を維持してきている(因みに、2002年、米国は提供兵力の削減を求め、現在削減実施中)。また、MFOの予算管理は極めて厳格であり、独立の監査も行われている。</p>						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率			人 %	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
なし						

(注)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。